

寺尾 紗穂

ピアノ弾き語り LIVE
in 白老



平和と祈りの音楽会

2025 年 9 月 7 日 (日) ^{open} 15:30 / ^{start} 16:00

[会 場] しらおい創造空間「蔵」(白老町本町 1-7-5) 駐車場有

[チケット] 前売 4000 円 / 当日 4500 円

高校生以下 2000 円 / 小学生以下 無料

※白老町民割 各種チケット半額

[ご 予 約] 専用フォーム or またたび文庫店頭にてチケット購入

[主 催] またたび文庫 (白老町大町 3-10-7)

[問 合 せ] matatabibunko@gmail.com / 090-2836-4671



寺尾 紗穂

ピアノ弾き語り LIVE

in 白老

平和と祈りの音楽会

寺尾 紗穂 Saho Terao

1981年東京生まれ。2007年ピアノ弾き語りアルバム「御身」でデビュー。大林宣彦監督の「転校生 さよならあなた」、安藤桃子監督の「0.5ミリ」など主題歌の提供や、CM楽曲制作(KDDI、MUJIほか)、音楽に限らず新聞やウェブでの連載も多数。オリジナルの発表と並行して、ライフワークとして土地に埋もれた古謡の発掘およびリアレンジしての発信を行う。『ミュージック・マガジン』誌では「戦前音楽探訪」の連載を6年間担当した。また、全国各地のアートプロジェクト、東東京エリアの「隅田川怒濤」(2021)、高知・須崎の「現代地方譚」(2022)、横須賀の「SENSEISLAND/LAND」(2024)などに招聘され、リサーチを経ての表現活動も増えている。2024年にはアーツ前橋ギャラリー6にて荒井良二とライブペインティングで共演。国立新美術館で開催された「荒川ナッシュ 画 ペインティングス・アー・ポップスターズ」展では、丸木俊の絵画に寄せて「ミクロネシア三景」を書き下ろし、展示と呼応するインスタレーションとして発表した。2009年より「ビッグ・イシュー」支援の音楽イベント「りんりんふえす」を主催。2025年に12回目を迎え、11回目より山谷・玉姫公園にて開催している。また、女工たちを描いた「女の子たち 紡ぐと織る」、兵器製造に動員された女学生を描く「女の子たち風船爆弾をつくる」など、作家小林エリカとタグを組み、歴史に埋もれた女性たちの声を、当時の音楽と共に甦らせる音楽朗読劇を制作している。2022年NHKドキュメンタリー「Dear にっぽん」のテーマ曲に「魔法みたいに」が選ばれ、教科書『高校生の音楽I』にも同曲が掲載されている。あだち麗三郎、伊賀航と共に3ピースバンド「冬にわかれて」でも活動が続ける。書籍最新刊は『戦前音楽探訪』(ミュージック・マガジン社)。音楽家や詩人、編集者など知人に声をかけ自身が編集するエッセイ集『音楽のまわり』、『わたしの反抗期』など出版シリーズも手がける。音楽アルバム最新作は「わたしの好きな労働歌」。前作「余白のメロディ」(2022)、「しゅー・しゃいん」(2024)、は『ミュージック・マガジン』の年間ベスト(ロック/日本部門)の10枚に選出された。

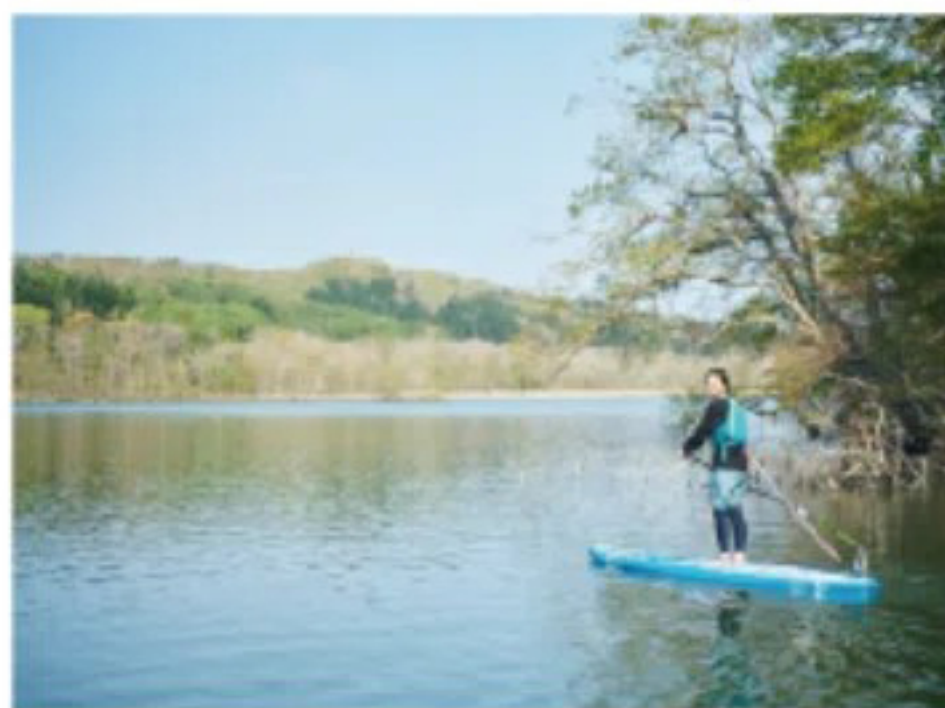
主催者よりひとこと

寺尾紗穂さんの幅広い表現活動のひとつの軸には、「平和への思い」があると感じています。

ことは、戦後80年の節目となる年です。平和を祈り懸命に生きてきた先人たちの声に耳を傾けるように、音楽をききたい。そんな思いから企画しました。

寺尾さんの公演は、白老では初めての開催となります。晩夏の風が吹く気持ちの良い季節、多くの方と一緒に、この地で音楽をともにする時間を楽しみにしています。

またたび文庫 羽地 夕夏



[日 付] 2025年9月7日(日) 15:30 開場 / 16:00 開演

[会 場] しらおい創造空間「蔵」(白老町本町1-7-5) 駐車場有

[ご 予 約] 専用フォーム or またたび文庫店頭にてチケット購入

